

第一次産業を元気にする ～SDGsにちなんチャレンジ2030～

鳥取県日南町（2019年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標

中国山地の中央に位置する鳥取県日南町。面積の9割を森林が占め、高齢化率は50%を超える。過疎、少子高齢化が進行する「日本の30年後の姿」の町として多くの学術機関におけるモデル地域となっている。
農林業を中心とした“第一次産業”を主役とし、緩やかな人口減少と持続可能を両立させる町民総活躍の「創造的過疎」のまちづくりへ挑戦しています。

2. 関連するゴール



3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

「創造的過疎のまち」というコンセプトのもと、本町の資産である恵まれた森林資源を余すところなく有効に活用する循環型林業の取り組み、森林施業に加わる新たな産業の創出、森と人づくりを育む森林教育を通じた地元への定着促進等を推進する。

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

- しごとをつくり、安心して働けるまちづくり
 - 日南町への移住、定住の促進
 - 安心して暮らし続けられる地域づくり
- “新産業の創出”、“人材育成・確保”、“森林保全”を基軸とした「中山間地域における新たな経済循環の構築」を図った。



5. 取組推進の工夫

人口減少や過疎・少子高齢化といった課題、また地域資源に乏しい中山間地域においては、パートナーシップによる目標達成が不可欠であり、基幹産業である農林業を中心として多様なステークホルダーと連携した自律的好循環を推進している。



6. 取組成果

農業分野では(株)ヤンマー等と連携し、みどりの食料システム戦略に基づく、県内初のオーガニックビレッジ宣言を実施。林業分野では(株)NXホールディングスなどと連携し、関係・交流人口の拡充や、県内外の企業からの「J-クレジット」を通じた新たな“経済循環”を促す仕組みが構築。廃材を活用した寄木細工製作の白谷工房は県内初のふるさとづくり大賞（総務大臣表彰）を受賞、地域での雇用創出が図られている。農林業後継者の育成を図るなど、全国の中山間地域のモデルとなるような事業展開を推進している。



7. 今後の展開策

人口最小県の鳥取県にあって、一番高齢化率の高い町が鳥取県日南町。日本が直面する過疎・少子高齢化といった課題に正面から立ち向かうべく、日南町の取り組みが“日本の30年後の姿を創る”という自負を持ったまちづくりを行っていく。
産官学金の多様なステークホルダーと連携し、農林業のみならず、住み続けられるまちづくりの実現に向け、医療・福祉・介護等、新たな分野も見据えた自治体経営を行う。

8. 他地域への展開状況（普及効果）

SDGs関連の視察やセミナー等での事例発表（年・約20回程度）、地元メディアによる県内外への広報活動により、“SDGsのまち・日南町”、“森林のまち・日南町”を発信することができた。今後も、日本の7割といわれる中山間地域の模範となるまちづくりに向け、「創造的過疎のまちづくり」を広く普及啓発していくこととする。